

校務 DX 計画

1 校務のデジタル化

現在、保護者連絡アプリを活用した保護者への連絡や、Google フォームを活用したアンケート調査・集計を行うなどのデジタル化を推進している。また、職員会議資料や児童生徒への配布文書などをクラウド上のフォルダに保存・共有し、ペーパーレス化を進め、教職員の業務効率化・負担軽減に取り組んでいる。

一方で、会議や研修会は対面での開催や、一部の提出書類は紙媒体で行っていることから、さらなる教職員の働き方改革を推進するためにも、今後検討を進めていく。

2 FAX・押印の見直し

FAX 及び押印については、すでに見直しを行い、校務の効率化を図っているが、一部のやり取りで FAX を使用していることから、災害や教育ネットワークの不具合時など、FAX の方が電子メールなどより効率的な場合を除き、FAX・押印の原則廃止に向け、各種関係機関及び学校と関わりのある事業者に対して、協力を求めている。

3 次世代校務支援システムの導入に向けた検討

平成 30 年度より、統合型校務支援システムを利用し、クラウド上で教務・学籍・成績などの管理を行っている。

今後、校務 DX 化をさらに推進するため、次世代の校務支援システム導入に向け、先進自治体より情報収集を行い、検討を進めていく。